

60

Social Welfare Corporation

同仁

吾らの誓い
—会員不滅共生の心—
人は皆佛子
佛種を内に包む
万物は同根
食草し合ひ
共に生きる



認定こども園

- | | |
|-----------|-----------------|
| 同仁東保育園 | 「触れて、感じて、広がる世界」 |
| ゆうゆうクラブ | 「成功よりも大切なこと」 |
| 臨海学園 | 「幼児さんの口癖」 |
| 同仁会子どもホーム | 「共に過ごす時間の中で」 |
| 同仁会乳児院 | 「初めての出会い」 |
| 内原和敬寮 | 「挑戦する過程を大切に」 |

- | | |
|---------------|--------------|
| つくば香風寮 | 「普通の大人に」 |
| さくらの森乳児院 | 「ねんねの時間」 |
| 内原深敬寮 | 「季節を感じ心に余裕を」 |
| 児童家庭支援センターだより | |
| 『らふいん』 | |
| 理事会だより | |



触れて、広がる世界

「認定こども園 同仁東保育園」



「これなんだろう？」

一歳児の小さな手がそつと水に触れた瞬間、ぱっと笑顔が広がりました。毎日の保育の中で、子どもたちが夢中になっている遊びの一つに『感触遊び』があります。手で触れたり、握ったり、こねたり。感触遊びは五感をフルに使って楽しむ子どもたちにとって、とても大切な体験です。水の他にも高野豆腐、片栗粉、春雨やパン粉など、身近なものが不思議な遊び道具に大変身します。

最初はちょっぴりドキドキして指先でちゃんと、と触っていた子も、段々と夢中になつて両手でにぎにぎしたり、ぐにゅーっと伸ばしたり「つるつるしてる！」「冷たい！」など、保育士とのやりとりも弾み、あちこちから笑顔と歓声が広がっていきます。素材に触れるたびに表情も動きもどんどん変わっていく子どもたち。感触遊びは子どもたちの五感を刺激し、手指の発達や「やつてみたい！」を育む大切な時間です。触ることで広がる世界は子どもたちの成長をぐつと豊かにしてくれます。

成功よりも大切なこと

「ゆうゆうクラブ・子育て支援」

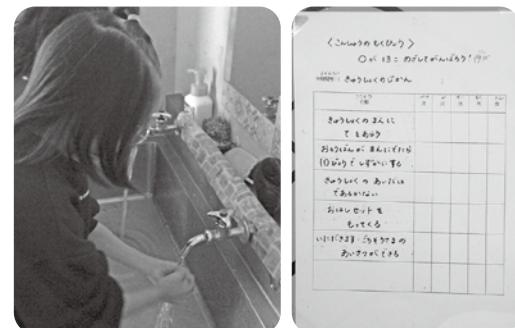
ゆうゆうクラブでは、ほめて伸ばす保育『ペアレントトレーニング』を長年行つてきました。その一つとして、学校の長期休業の時に行つている『チャート』があります。

これは、今もできている簡単な目標二つ、少し頑張れば達成できそうな目標二つ、頑張つて達成してほしい目標一つを表にしたもので、目標が達成できた時に

は表に丸をつけ、できなかつた時には空欄にし、一週間であらかじめ設定していた目標数の丸が付いたらご褒美がもらえます。できなくてもバツは付けず空欄にするというのもポイントで、できないことは×(だめ)ではなく、否定しないという意味が込められています。

このチャートを給食の時間に活用しています。いつも出歩いてしまう子がいたり、お箸セットを忘れてしまう子がいたりで、丸が付かない日が続きました。それでも子どもたちは、誰も責めたり

たり怒つたりせず『次にどうするか』『どうしたらできるのか』を前向きに話したり言葉をかけ合う子どもたちの姿に嬉しくなりました。また、すべての子どもたちの姿に嬉しくなりました。また、すべての子どもたちの姿に嬉しくなりました。



そんな姿に私たち職員も嬉しくなつてしまい「今日は挨拶が凄く上手だったから、花丸で丸二つ分にカウ

がしました。そんな姿に私たち職員も同じ場所でともに育ち合

う『インクルーシブ保育』の姿を見ることができた気がしました。

幼児さんの口癖

～臨海学園～

私は臨海学園に就職して二年目になりましたが、慣れない料理や日々の業務内容に追われて余裕のない日々を過ごしていました。その中で幼児さんとのある口癖から、子どもたちとの何気ない毎日を丁寧に過ごすことの大切さに気付くことができたお話をしたいと思います。

私が就職するのと同じ時期に入所した三歳の女の子がいます。入所したばかりのその子は、人見知りで言葉もあまり話さず、泣くことが多い子でした。臨海学園で過ごしていく中で職員にもたくさん甘えられるようになり、たくさん言葉を覚え色々な話ができるようになりました。一緒に外出したり、行事に参加したりすることが増えると、その子は「○○行つたよね。」「○○食べたよね。」が口癖になりました。その時は「そうだね。」と言いながら、その時の思い出を一緒に話しています。



ある日、他の子が習字をしていると「前、一緒にやつたよね。」と、急にその子が話しかけてくれました。しかし、私は全く何のことか覚えていませんでした。その子に詳しく聞くと、一ヶ月ほど前に一緒に絵の具で塗り絵をした時のことだと分かりました。しかしその時、時間がなく業務的に色塗りをしてしまったことを思い出し、とても反省しました。何気ない日常の中での出来事の一つでも、子どもたちにとって大切な思い出なのだと気付くことができました。

これからも子どもたちの大切な時間を一緒に過ごしていることを誇りに思い、反省を生かして日常の関わりを大切に過ごしたいと思います。

共に過ごす時間の中で

～同仁会子どもホーム～

高校三年生はそれぞれの進路に向けた夏を過ごし、職員は彼らの選択を見守りました。



例えは奨学金。進学を希望する人はもちろん、就職を目指す人へも多くの団体から案内があり、それぞれ手続きを進めます。作文や収支計画などの書類を自分で作るという、「大人への第一歩」を経験することになります。

他には家事。料理や掃除、洗濯などを自分で行なうことは、楽しさと大変さが入り混じります。施設の暮らしの中で家事の楽しさが伝わると良いなと思い、好みの柔軟剤を使ったり、休日に自分の食事を用意してもらったりしています。

自立支援のセミナーにも参加しています。初めて会う人や学ぶ内容に刺激を受け、少しずつ大人の階段を上っているようです。子どもと職員が同じ方向を向いて話す時間を感じています。何気ない日常の中での出来事の一つでも、子どもたちにとっては大切な思い出なのだと気付くことができました。

私は入職してから初めての担当児を任せられました。院長から「担当だからよろしくね。」と言われた時の嬉しさは、とても大きかったです。その反面、今まで経験したことのない業務を一人でこなさなくてはいけないことへの不安も大きかったです。

担当した子は、いつも笑顔がキラキラで追いかけっこが大好きな女の子でした。甘えん坊で可愛らしいのですが、なかなか抱っこから降りられずに泣き続けてしまう一面も…。「私が受け止めなければ」と張り切っていたものの、泣き続ける姿を見るうちに、次第にどう関わるべきか迷うようになってしましました。それでも、担当としての責任を全うするために、ときに先輩方の力を借り、試行錯誤しながら関わりを続けてきました。「泣いてもいい。その子にとって一番安心できる人になつてあげて。」という言葉を掛けていただけの時は、泣き止ませようと必死になりました。プレッシャーを感じていた自分の心がふと軽くなつた気がしました。

担当児を持ったことで様々な業務が増えて大変なこともありました。先輩方の温かさや子どもの可愛さに励まされて、無事に送り出すことができました。これから先たくさんの子どもたちと出会うことになりますが、どの子にも精いっぱいの愛情が伝わるよう、日々関わりに努めたいと思います。

初めての出会い

～同仁会乳児院～

挑戦する過程を大切に

(内原和敬 様)

私は学生の頃、川で釣りをよく楽しみました。繰り返しルアーを投げる中で「今度こそ釣れるかも知れない」と思つても、結局釣れないという日も少なくありました。しかし、自然の中で生き物と関わる時間は大切な思い出として心に残っています。

施設の子どもたちとも同じような経験ができれば良いなと思い、夏休みに一緒に釣りをする機会を作りました。残念ながら魚は一匹も釣れませんでしたが、印象的な出来事はたくさんありました。ポイントを探しながら歩いていると突然、魚が水面から飛び跳ね「今いたよね！」と大騒ぎをしました。ルアーを投げた際に、緩んだリールから持ち手も一緒に飛んでいつたり、木の枝に引っ掛けたてどうにか外そうとしたりと、上手くいかないことも多くありました。しかし、同時に自然の中でしか味わえない経験ができたなとも感じました。



釣れないからつまらないではなく、「さつきより遠くに飛ばせたよ！見てて！」あっちの方に行つたらもつと魚いるかもしれないから行つてみようよ！」と試行錯誤をしながら楽しむ姿に、挑戦そのものを楽しんでいました。帰り道では「絶対いたから次はたくさん釣ろうね。」「釣れたら食べられるかな。」と楽しそうに話す姿を見て、失敗ではなく次に繋がる出来事になつたのだと実感しました。

日常の中では結果を求められることがよくありますが、挑戦する過程を大切にすることのできた一日になりました。

普通の大人に

(つくば香風寮)

これまでの六年間で、今の『自分らしさ』を見つけるきっかけになった子がいました。その子との関わりでは、私の思いのみで行動し本人の気持ちに寄り添えず失敗したことや、なかなか受け入れてもらえない時期が続いたことがありました。また、そうした状況を一人でどうにかしようとしたことも相まって、自分をどんどん追い詰めていつてしまふ悪循環に陥ったこともあります。この子との関わりを今の『自分らしさ』を見つけるきっかけにすることが出

来たのは、私の頑張りの成果だけではなく、つくば香風寮の仲間たちが支えてくれていたからだと強く感じています。特に同期との縁はこれからも大切にしていきたいです。

好かれることが当たり前ではない。たとえお節介だと思われても、自分から関わっていく。衝突して嫌われても、冗談を言い合えるような「嫌いな大人」から「普通の大人」になるまで関わり続けられる。こうした関わりができる素敵なかつば香風寮で、これからも子どもたちの可愛さに触れながら、みんなで成長していきたいと思います。

わんわの時間

(さくらの森乳児院)

一日の終わりに、子どもたち一人ひとりとおやすみのスキンシップをする時間があります。

さくらの森乳児院では、幼児グループの1歳半から3歳の子どもたち十人が一つの部屋で寝ています。全員で寝室に移動すると怪我をする可能性があるため、一人ずつ自分の布団に行けるよう始めたことがきっかけです。扉のところで一人ずつ「おやすみ」と挨拶しながらタッチをしたり、抱っこをしたりしています。「おやすみ」と言ってくれる子、笑顔で抱きしめ返してくれる子など、子どもによつて反応は様々です。

ある日の夜、職員が他の子とスキップをとつていると、大きい子が小さい子を抱きしめながら笑い合っている様子が見られました。その様子が微笑ましく、とても温かい気持ちになりました。毎日の忙しい時間の中で、寝る前のゆったりとした時間は私にとっても、子どもたちにとってはとても大切な時間になつていていました。また、子ども同士の間に、安心や思いやりが広がっていることが嬉しくなる素敵な時間になりました。

季節を感じ 心に余裕を

内原深敬寮

日本は、春夏秋冬で四つの季節という認識が一般的ですが、実は五季あるのです。それぞれの季節の間に土用という期間があり、次の季節への準備期間となります。春と秋は気温が同じでも色合いが違い、風の香りも違います。土用があるからこそ季節の移ろいを感じられる。素敵ですね。

現代は男女関係なく仕事に就き、特に子育て真っ只中だと時間に追われ四季を味わうこともなく、あつという間に一年が過ぎるのではないでしょうか。子育てを終えた私としては、そんな皆様に一瞬でもホッとしていただけたらと、気が向いた時ではあります。季節の身近な草花を添えられたらと思っています。季節の移ろいを感じると、不満も言わずただ咲いている花に癒され、自分の愚かさを反省したくなります。

また、正門にある桜の開花に出会うことを楽しみに蕾のふくらみ具合を観察しています。そんな何気ない喜びを子どもたちにも伝え、少しでも喜んでもらえたら、それも役割の一つかなと感じられるこの頃です。



プチ・ぷちエピソード

低学年のおでかけでシビックセンターとハレニコ（室内型子どもの遊び場）に行きました。子どもたちと行き先の確認をすると「チビッコセンター！」…吹き出しました。

さて、遊んだ後はアイスクリーム専門店へ。チョコミントを見たM君が「歯磨き粉の味がするから嫌。」…あれっ。歯磨きの時、美味しいって舐めてなかったっけ。

どこに行っても笑いの絶えない楽しい一日でした。
(同仁会子どもホーム)

自由参加行事として、ディズニー映画の上映会を行いました。小学4年生のAくんは「ディズニーなんて子どもが見るものだから、俺は見ない。」と素っ気なくしていましたが、行事が始まると、そこにはAくんの姿が。始めは集中して見ていましたが、飽きてしまい途中で退室してきました。子どもらしさ満点のAくんでした。

(内原深敬寮)

おままごとをしていたある日のこと。「あーんしてね」と言いながら、張り切ってみんなにドーナツを振る舞っていたしっかり者のRちゃん。「あーちゃん（同仁会乳児院での職員の呼び方）にもください」と職員が口を開けて待っていると…「おくちおおきい！みんなのぜんぶたべちゃうでしょ！」と一言。職員のあーんのお口が大きすぎて、ドーナツが全部食べられちゃうと思ったのかな。そう言われてしまった職員もちょっぴり恥ずかしそう。それでも最後には「なかよくなれるんだよ」とあーちゃんにも分けっこしてくれるRちゃんでした。
(同仁会乳児院)



チキンソテー バニヤカウダソース



【材料】2人分

(アンチョビソース)
 ・鶏もも肉 …… 2枚(160g) アンチョビペースト … 3.6g
 ・塩こしょう …… 0.4g オろしにんにく …… 2g
 ・サラダ油 …… 4g オリーブオイル …… 8g
 生クリーム …… 14g

【作り方】

- ①鶏肉に塩こしょうで下味をつける。
- ②フライパンにサラダ油をひき、中火で皮目から焼く。
- ③焼き色がついたら裏返し、中まで火が通るよう焼く。
- ④ソースの材料をミキサーにかけ混ぜておく。
- ⑤皮目を上にして④と焼き油をなじませながら仕上げる。
 [ソースが余ったら…]
 魚のムニエルソースとして。
 スティック野菜やボイル野菜のディップソースとして。ポテトサラダの味変として。
 ポテトフライにかけても良し。
 ソースは他の料理に代用できますので是非お試し下さい。

みなさんには花言葉はありますか。同
仁会児童家庭支援センターでは現在、職員間で
話題のお花があります。それはストックとディ
ジーです。

ストックというお花は、ふわふわっとした花
びらを空に向かうようにたくさん咲かせます。
花びらの色は、淡いピンクや目を引く赤に見惚
れる真っ白など、実に多色です。そして花言葉
は『思いやり』や『見つめる未来』などです。

もう一つの話題のディジーは、その由来が
『太陽の日（デイズアイ）』とも言われています。
その由来通り、太陽の下でおひさまのような丸
い小さな花をたくさんつけます。ディジーで有
名なのは、白くて真ん中が黄色いお花でしょ
う。そして、ディジーの花言葉は『希望』や『未
来』などがあります。

さて、なぜこの二つのお花が最近の話題な
のかと言ふと、私たちの取り組みの一つである、
子育て家庭を対象にした食品等の支援『すと
く』に赤ちゃん専用便が加わったためです。そ
の名も『でいじー』です。

花言葉に職員一同の思いを託しました。お
子さんやご家族が笑顔になれるお手伝いができ
ればと思っています。この二つのお花のように。
たくさん笑顔が咲く未来になりますように。

みなさんには花言葉はありますか。同
仁会児童家庭支援センターでは現在、職員間で
話題のお花があります。それはストックとディ
ジーです。

ストックというお花は、ふわふわっとした花
びらを空に向かうようにたくさん咲かせます。
花びらの色は、淡いピンクや目を引く赤に見惚
れる真っ白など、実に多色です。そして花言葉
は『思いやり』や『見つめる未来』などです。

もう一つの話題のディジーは、その由来が
『太陽の日（デイズアイ）』とも言われています。
その由来通り、太陽の下でおひさまのような丸
い小さな花をたくさんつけます。ディジーで有
名なのは、白くて真ん中が黄色いお花でしょ
う。そして、ディジーの花言葉は『希望』や『未
来』などがあります。

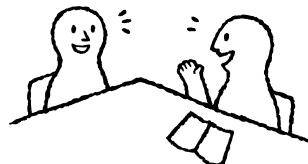
さて、なぜこの二つのお花が最近の話題な
のかと言ふと、私たちの取り組みの一つである、
子育て家庭を対象にした食品等の支援『すと
く』に赤ちゃん専用便が加わったためです。そ
の名も『でいじー』です。

花言葉に職員一同の思いを託しました。お
子さんやご家族が笑顔になれるお手伝いができ
ればと思っています。この二つのお花のように。
たくさん笑顔が咲く未来になりますように。

相談室の窓から

児童家庭支援センターだより

らふいん
Laughing
～子どもと家族の笑顔のために～



同仁会児童家庭支援センター（高萩地区）令和7年度 相談受付状況

養護	保健	障害	非行		育成			その他	合計			
			ぐ犯等	触法行為	性格行動	不登校	適正					
延べ件数	252	316	111	75	0	0	91	12	2	1	5	865

児童家庭支援センターあいびー（内原地区）

養護	保健	障害	非行		育成			その他	合計			
			ぐ犯等	触法行為	性格行動	不登校	適正					
延べ件数	359	170	0	38	27	0	222	42	0	7	1	866

※令和7年8月末現在

心理療法室にて

みえないけどみえるもの

私たち心理士は、心理支援と言われる
心の問題を解消することを専門としている
ます。私は地域の子どもに関する相談を
受ける機関でセラピストをしており、大
人から子どもまで幅広い年代の方の相談
を受けています。何にどのくらい困って
いてどうしたいのか、大人ならスマート
に話せるかもしれません、子どもはそ
うはいきません。「困っていることは？」
と聞いても「ない」と返ってくること
もしばしば。そんな時に大事なのは、言
葉にこだわらないことです。

初めての場所で初めて会う人と話すこ
とは、大人でも緊張します。「困っている
ことを話して。」と言われても何て言つた
らいいか分かりません。そんな時は絵に描
いてもらったり数字で教えてもらったりし
ていて、その場所に行つた時に体のどの辺り
が辛くなるのか、辛い気持ちは何色でどん
な形・大きさをしているのか、十のうち何
点くらいの強さなのか、ゼロ点の時がある
のかないのか、など。

心で感じていること、考えていること
は目に見えません。言葉で表すのも難し
いことがあります。でも子どもたちは既
にいろいろな方法で表現しています。そ
こに行くと辛くなる」というのも表現の
一つです。子どもたちが表してくれたサ
インを拾い、少しでも困りごとが減つて
いくように、見えないけど見えるものに
ついて日々考えています。

心理療法担当職員
児童家庭支援センターあいびー

里親支援

臨海学園では、子どもと里親さ
んを繋ぐ里親マッチングのサポー
トを行っています。

どの里親さんも初めは緊張し
ながらも、子どもとの出会いにワ
クワクしている様子を見させてくれ
ます。また、里親さんと初めて出
会った子どもたちは素直に喜んだ
り、緊張して泣いてしまったり、
警戒して拒否するような態度を
とつたりと、様々な行動を見せま
す。それでも子どもたちは里親さん
が大切にしてくれる人なのかなを見
にとつて特別な人だと感じとりま
す。子どもたちは里親さんが自分
を試すような行動をたくさんとり
ます。それでも子どもたちは初めて
出会った日から里親さんは自分
にとつて特別な人だと感じとりま
す。子どもたちは里親さんが自分
を大切にしてくれる人なのかなを見
にとつて特別な人だと感じとりま
す。子どもたちは里親さんが自分
を試すような行動をたくさんとり
ます。

そのような関わりを一つ一つ
受け止めてくれた里親さんと、関
係を築いていきます。

子どもが安心して里親さんとの
生活に移行していくように、お
互いのペースに合わせて交流を進
めていきます。子どもがそのまま
里親家庭で生活できるよう、マ
ッチング後にはたくさん話話し合
いをしています。マッチングを経て、
里親委託になつた後も定期的に電
話や家庭訪問をしながら、子ども
の成長を里親さんと一緒に見守らせ
ていただいています。

これからも、子どもがその子ら
しく生活ができるように、サポート
をさせていただきたいと思います。

臨海学園 里親支援専門相談員

こどもギャラリー ~つくば香風寮~



【発行】
令和8年1月
高萩市肥前町1丁目80番地
社会福祉法人同仁会
<https://doujinkai.or.jp>
発行数 1,200部

【編集】
社会福祉法人同仁会
情報公開委員会

【印刷】
佐藤印刷株式会社

入職したころから運動を続けています。もともと体を動かすのが好きなこともあります。ですが、健康のために続けています。そのおかげか入職してから四年間病気で休んだことがありません。いつまでこの記録を伸ばせるか分かりませんが、将来のためにも運動は続けていきたいなと思います。

(阿)

先日、お誕生日の女の子と一緒にケーキを手づくりしました。バナナを飾りつけたり、生クリームを塗つたり、楽しく作っていました。途中で生クリームの美味しさに気が付いてしまい、スプーンに生クリームがつくたびに「(舐めても)いい?」と聞き、つまみ食いに一所懸命な姿がかわいらしかったです。

(後)

「一石二鳥だね。」と、当時の園長先生に入社面接で言われ、一週間後に「四月から来てね。」と電話で伝えられたことを今でも覚えています。あれから十六年。調理の仕事もでき、子どもたちと関わる仕事もでき、本当に一石二鳥だなと感じます。こういう環境に感謝しつつ、これからも周りの方たちと歩んでいきたいです。(越)